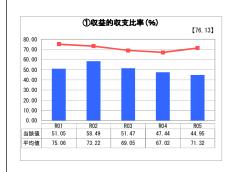
経営比較分析表(令和5年度決算)

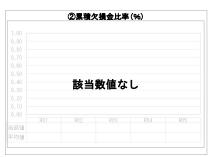
北海道 西興部村

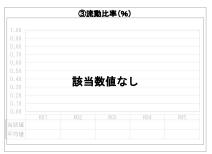
	業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
Γ	法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
	資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
Г			05.72	2 070	

人口 (人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
981	308. 08	3. 18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km²)	給水人口密度(人/km²)

1. 経営の健全性・効率性



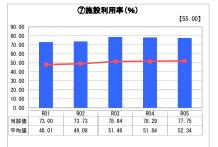


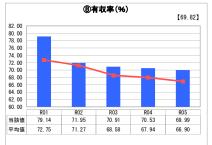












2. 老朽化の状況







グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成17年度、18年度にて区域拡張工事に伴い、浄水場等の施設の新設工事を実施した。

企業債務高については、主に上記工事に伴うものであり、依然として収益的収支比率、企業債務高対 給水収益比率は良好な水準とはなっていないため、 今後においては更なる経費の見直しをした上で使用 料の改定も視野に入れていかなければならない。

令和5年度については総収益、総費用共に概ね模 ばいとなっているが、有収率の低下に伴い料金回収 率の低下及び給水原価が増となっているため、漏水 等の調査を強化する必要がある。

簡易水道事業を運営するには、本来であれば料金 収入をもって賄う事が当然であるが、小規模自治な であり、料金収入だけで賄うと住民の負担増となっ てしまうことから、一般会計繰入金が不可欠となっ ているのが現状である。

2. 老朽化の状況について

昭和46年当時の管路が法定耐用年数50年を経過しており、更新費用の面から漏水等の判明次第修繕で 対応しているのが現状であるが、今後においては耐 震化も見据え更新していく考えである。

また、浄水場施設における電気設備等が設置後20 年に差し掛かるため、計画的な更新が必要となり今後の費用増大が予測される。

全体総括

今後においても常に経費等の見直しを行い、無駄なく適正な維持管理に努めると共に、有収率改善のため漏水調査を強化し向上を目指す。また、広域化の検討も引き続き行い経営改善に努める。